

か ど ひいらぎ

香童の柊

No. 25

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成30年2月9日

文責：校長 廣田 昌英

貴重な実体験

3年生のそろばんを扱う授業では、珠算ボランティア協会から2名の方が来校してくださり、持参してくださった教材で丁寧に教えてくださいました。2日間で3時間の授業を行いました。初めてそろばんに触れる子が多く、小さな珠をぎこちなくはじく姿はなんともかわいいものでした。

4年生では3名の建具師さんが来校してくださり、和風の立派なフォトフレーム作りを支援してくださいました。優秀な4年生がテキパキと組み立てて完成させたため、余った時間でマイ箸作りのおまけまで付きました。きっと家でご飯を食べるのが楽しみにになったことでしょう。

5年生では、関東電気保安協会から2名の方が来校してくださり、電気についての出前授業が実施されました。クリップモーター作りや、家庭で使用されている電線をショートさせる実験が行われました。子ども達は目を輝かせて夢中になって、電気の不思議さと便利さに加えて、怖さまで体験できたようです。

6年生では3名の印章篆刻（てんこく）技能士が来校してくださり、一人一人がこの世にたった一つの自分だけの落款（らっかん）印作りを行いました。自分の名前に使われている文字を、篆書（てんしょ）体と呼ばれるとても古い漢字の書体に直し、それを石に彫りつけるのです。これはもしかすると一生に一度の貴重な体験になるかも知れません。

いずれも外部から招いたの専門家の方々による、具体物を用いた体験的な授業です。実感を伴った理解が得られたことはもちろんですが、職業や生き方についても考えるきっかけになったかも知れません。子ども達の可能性を広げるためにも、こういう機会をどんどん増やしてあげたいですね。

お手本は卒業生！

夜間に雨が降り、路面が凍結している朝でした。出勤してきた私はコンビニ（古郡先生ではありません）から北上し、稲葉小前の歩道橋付近を右折しようとしてしました。ところが、歩道を自転車で南下してくる2人の中学生を発見して一時停止。中学生が滑って転ばなければいいなあ、とか思いながら通過するのを見ていました。すると中学生、ヘルメットをかぶったままこちらを見てニコッと歯を見せてお辞儀をしていきました！2人とも！「先に通してくれてありがとうございます！」って声が聞こえてくるようでした。うれしいですね。おーい、稲葉小のみんな、やっぱりあいさつは大切だぞ！相手を気持ちよくしてくれるぞ！そしてお手本はみんなの先輩だぞ！

バトンタッチ

2月上旬のある日の3時間目、6年生の算数は学習すべき内容を全て履修し、応用と復習を兼ねた総合問題に取り組んでいました。学んだ力を実生活にどう生かすのか、腕の見せ所です。そして同じ時間の5年生の教室では、「6年生を送る会」の計画が話し合われていました。もう、そんな時期なんですね。数えてみたら、6年生が登校するのは残り30日を切ってるんです。これまで稲葉小をリードしてきた6年生ももうすぐ卒業。私からは感謝と応援の気持ちでいっぱいです。そして5年生にとっては自分たちが前面に立って稲葉小をリードする最初のお手本、それが「6年生を送る会」です。新しいリーダーの活躍も応援したいですね。さらに、4年生以下の在校生もそんな先輩達を身近でよく見て、主役の交代を肌で感じていることでしょう。どうかいい伝統がいつまでも受け継がれていきますように。